

## 第3章 取組み

期 間

評 価

推進委員

実際に「健康ふっさ21」を取り組んでいくにあたり、具体的にどのようにすすめていくのか。

また、取り組んだことにより、市民の健康づくりが、どの程度すすんだのかを確認する方法等について紹介します。

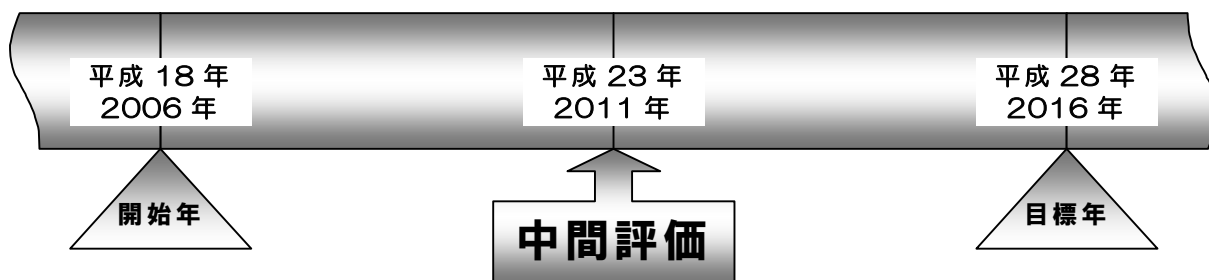


# 第 3 章 取組み

## 1. 期 間

「健康ふっさ21」は、平成18（2006）年度を初年度とし平成28（2016）年度を目標年度とする、10ヵ年計画となっております。

中間年である、平成23（2011）年度には中間評価を行い、それをもとに、次の5年間における計画の修正や見直しを実施し、改定いたします。



## 2. 評 価

「健康ふっさ21」では、健康づくりの推進と平行して、「評価」を実施していきます。

評価の方法は、大きく分けて2つあり、これらの方法を用いて評価することが望ましいと考えています。

### ● 検診等のデータによる評価

検診等によるデータを指標とした場合の方法です。例えば「糖尿病」の事業について評価する場合は次のように評価を行います。

まず、基準になる年を決めます。次に「基本健康診査」における「糖尿病要医療者」の割合を出します。それを指標として、以降の「糖尿病要医療者」の割合を比較して、「健康ふっさ21」のもと実施した「糖尿

病に関する事業」が効果を得ているかどうか、という評価をすることが可能になるという方法です。

### ●市民アンケートによる評価

福生市では、「健康ふっさ21」の策定にあたり、「福生市民の健康に関するアンケート」を平成17年4月に実施しました。（内容・結果等、詳細は第3部をご覧ください）

中間年である平成23年には再度、同内容のアンケート調査を実施し、実際の数値にどのような変化があるのかを調査し、それ以降の対策と取り組み方に反映させていくという方法です。

この方法の場合には、必要に応じて最終年度である、平成28(2016)年度にもアンケート調査を実施することになります。

## 3. 推進委員

「健康ふっさ21」は市民一人ひとりが健康であることの大切さを自覚し、自分自身でできること、家庭でできることから始まり、地域と行政も一体となり健康づくりに取り組んでいくことを主眼にしています。市民一人ひとりがより健康になるためには、行政からの情報提供だけでなく、個人や家族が健康について意識するとともに身近にある地域の協力が重要な役割を担うこととなります。

「健康ふっさ21」に取り組むにあたり、健康づくりに関心のある市民の方々を募り、推進委員（仮称）として協力をいただく予定です。また、推進委員、町会、福祉活動団体、NPO、スポーツ団体、商工会等の各種団体と行政がしっかり連携を取って具体的な健康づくりを検討し、取り組んでいきます。推進委員は自由な発想で市民の健康づくりの手助けをします。